

センターだより第16号
令和8年10月20日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

新規受託開始について（お知らせ）

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目におきまして外注先の株式会社エスアールエルより、新規項目について案内がありましたのでお知らせいたします。
今後とも当検査センターをご利用賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

■ 受託開始日

令和8年10月26日(月)ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (4桁コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2553100 (6345)	 APOE遺伝型	血液 (EDTA-2Na加) 2.0	PN2 PN5 (C)	3～7	2274 ※2	PCR (リアルタイムPCR)		 下記参照

※2：遺伝子関連・染色体検査判断料

(備考)

- ・凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。
本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。
- ・SRL総合検査案内 ご利用の手引き「ファーマコゲノミクス (PGx) 検査項目をご依頼の場合」をご参照のうえ、ご依頼ください。

臨床検査センターに関するお問い合わせやご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。
連絡先:鹿児島市医師会臨床検査センター(099) 226-8827

● APOE遺伝型

抗アミロイドβ抗体薬投与後のARIA発現リスクの判定補助に有用な検査です。

APOE遺伝子は、脂質の輸送や代謝に関与するアポリポ蛋白Eをコードする遺伝子であり、ε2、ε3、ε4の3つの主要な遺伝型を持ち、ε4はアルツハイマー病の発症リスクを高めることが知られています。

近年、アルツハイマー病（AD）に対する抗アミロイドβ抗体薬の治験において、ε4が副作用であるアミロイド関連画像異常（amyloid-related imaging abnormalities：ARIA）の発現リスクであることが報告されました。ARIA発現リスクはε4ホモ接合体、ε4ヘテロ接合体、ε4非保持者の順で高く、特にε4ホモ接合体の場合、症候性ARIAの発生頻度が高くなります。そのため、抗アミロイドβ抗体薬使用前に、副作用の発生頻度を予測し、患者・家族との共同意思決定に活用することを目的に、APOE遺伝子検査を行うことが推奨されています。

本検査は、APOE遺伝子にある2箇所の一塩基置換（rs429358、rs7412）を検出し、組み合わせにより6つの遺伝型（ε2/ε2、ε2/ε3、ε2/ε4、ε3/ε3、ε3/ε4、ε4/ε4）を判定のうえ、ご報告いたします。

▼検査要項

検査項目名	 APOE遺伝型
項目コード (4桁コード)	2553100 (6345)
検体量	血液(EDTA-2Na加) 2.0 mL
容器	PN2, PN5(C) EDTA-2Na入り
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3～7 日
検査方法	PCR(リアルタイムPCR)
基準値(単位)	
検査実施料	① 2274点 (「D006-17」Nudix hydrolase 15 (NUDT15) 遺伝子多型)
判断料	100点(遺伝子関連・染色体検査判断料)
備考	 凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

- ① APOE遺伝型は、効能又は効果としてアルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制を有する医薬品に係る厚生労働省が作成する最適使用推進ガイドラインで定められた投与対象となる患者及び投与施設において、当該医薬品の投与の可否、治療方針等を判断することを目的としてリアルタイムPCR法により測定を行った場合に、患者1人につき1回に限り算定する。

1. 本検査は、全血から抽出したゲノムDNA中のAPOE遺伝型を判定し、抗アミロイドβ抗体薬投与後のARIA発現リスクの判定の補助を目的としています。
2. 「認知症に関するAPOE遺伝学的検査の適正使用ガイドライン」を充分にご理解のうえ、適切にご使用ください。

●参考文献

Hampel H, et al : Brain 146 (11) : 4414～4424, 2023. (臨床的意義参考文献)

以上

センターだより第17号
令和8年10月20日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

学術講演会の開催について（ご案内）

日頃より鹿児島市医師会臨床検査センターをご利用いただき、深く感謝申し上げます。
当臨床検査センターでは、医学の進歩に対応した検査内容の整備と、臨床に役立つ検査情報を発信しており、この度独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院 糖尿病・内分泌内科部長 山本 恒彦 先生をお招きし、下記のとおり学術講演会を開催いたします。

当講演会は専門医共通講習、日本医師会・鹿児島県医師会生涯教育講座の対象としております。会員の先生方をはじめ、医療関係者の方々も多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

つきましては、参加をご希望の場合は、11月20日（金）までに臨床検査センターへFAX（225-5738）等によりお申込みくださいますようお願いいたします。

※平成19年4月の医療法改正により、無床診療所等の職員も安全管理・院内感染対策のための研修を受講する必要があるため、今回の講演会は、これに基づき、日本医師会・鹿児島県医師会の生涯教育講座（CC:8、感染対策）1単位を付与いたします。

記

演 題：『 糖尿病診療に潜むMASLD/MASHへの治療戦略
～肝線維化を見逃さないために～ 』

講 師：独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院
糖尿病・内分泌内科部長 山本 恒彦 先生

座 長：福元 和彦 先生（鹿児島市臨床検査センター担当理事）

日 時：令和9年1月22日（金） 19時

場 所：鹿児島市医師会館 3階大会議室（鹿児島市加治屋町3番10号）

※お車で越しの場合は周辺の有料駐車場をご利用いただきますようお願いいたします。

~~~~~

### 学術講演会参加申込書

下記に医療施設名・所属・氏名をご記入の上、FAXにてご返送ください。

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 医療施設名 |                   |
| ご 所 属 | 医師 ・ 看護師 ・ その他（ ） |
| ご 氏 名 |                   |

#### 【連絡先】

鹿児島市医師会臨床検査センター 担当：河合  
TEL：099-226-8827 FAX：099-225-5738